

〈体育科〉 1年

現在の分析

〈運動や健康・安全への関心・意欲・態度〉

- ・どの運動にも、楽しみながら進んで取り組む。
- ・休み時間には、ボールや遊具を使った遊び、鬼ごっこ、タイヤなどを楽しんでいる。
- ・他児の姿を見て、鉄棒や雲梯や登り棒に挑戦する子もいる。
- ・外に出たがらない子が何名かいる。

〈運動や健康・安全への思考・判断〉

- ・ルールを守り、安全に気をつけて運動をしよう意識している児童が多い。中には楽しさが先にたっしまい、話を聞かず安全に対する諸注意が散漫になってしまう子がいる。
- ・友達の動きを見て、良いところを真似したり、自分で工夫したりする姿が見られた。

〈運動の技能〉

- ・全体的に走力が低く、転んでけがをする子が多い。転んだ時に、手は出ている。
- ・運動技能に優れている児童もいるが、跳・投の技能、柔軟性や筋力などが不十分な児童が多い。
- ・多様な動きに慣れていない。
- ・水に顔をつけたり、もぐったりすることが苦手な児童がいる。

重点課題

〈運動や健康・安全への関心・意欲・態度〉

- ・集合、号令、話を聞くなど、学習規律を守ること。
- ・体を動かす楽しさや心地よさを味わわせることで、外遊びの日常化を図ること。
- ・室内遊びやごっこ遊びが好きな児童の、体を動かす外遊びの意欲を高めること。
- ・友だちと進んでかかわり、協力して運動する態度を育てること。

〈運動や健康・安全への思考・判断〉

- ・友達の良い動きを見付けて参考にしたり、自ら工夫して運動したりすることができるようにすること。
- ・みんながゲームを楽しめるようルールや場を工夫したり、作戦を考えたりすることができるようにすること。
- ・グループ内で協力をし、アドバイスをしたり、教え合ったりして、意識を高めること。

〈運動の技能〉

- ・運動の基礎となる動きをたくさん経験させるようにすること。
- ・柔軟性や筋力、敏捷性を身に付けさせるようにすること。
- ・多様な動きを多く経験させるようにすること。
- ・水の中を歩いたりもぐったり目をあけたりすることができるようにすること。

授業改善策

〈運動や健康・安全への関心・意欲・態度〉

- ・友だちと関わりながら運動を楽しむことができるよう、グループ作りやルールを工夫する。特に男子と女子が一緒に遊べるような遊びや運動を工夫する。
- ・日常の遊びに繋がるような運動を取り入れる。
- ・学習の流れやルールの確認するときに、きちんと話を聞いて理解できるようにする。

〈運動や健康・安全への思考・判断〉

- ・児童の発想が広がるような声掛けや場の工夫を行う。
- ・グループの協力や作戦によって、楽しくできるようなゲームを行う。
- ・スモールステップを踏ませることで、できるようになる楽しさをより多く味わわせる。

〈運動の技能〉

- ・走る、跳ぶ、投げる、転がる、のぼる、おりる、ぶら下がる、バランスをとる等の基礎的な動きを多く経験させる。
- ・体力テストの結果や学習カードの振り返りで、課題を見付け、克服することによって、以前の自分と比較して、技能の伸びを意識して運動できるようにする。
- ・多様な水遊びを通して、楽しく水に親しみ、少しずつもぐることや浮くことに慣れてできるようにする。